

東葛北部地域における糖尿病性腎症重症化予防対策の推進について

千葉県健康づくり支援課
保険指導課

県は「千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、保険者と医療機関の連携した取組を推進しているが、治療につながらない・治療中断等課題は多い。
東葛北部地域における糖尿病性腎症重症化予防対策の更なる推進に向けて御意見をいただきたい。

1 東葛北部地域の国民健康保険及び後期高齢者医療の現状

国民健康保険の被保険者数は年々減少傾向だが、後期高齢者医療の被保険者数は増加傾向。後期高齢者医療は、一人当たり医療費が県平均を上回っている。

2 糖尿病性腎症重症化予防対策取組の経緯

県は県民の健康増進と医療費の適正化を図るため、新規透析導入患者の減少を目指し、千葉県医師会等関係4団体と平成29年12月「千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定した。
本プログラムでは、保険者が発症・重症化のリスクを有する者を健診やKDBレセプトから抽出し、かかりつけ医等と連携し人工透析にならないよう継続的な受診勧奨と保健指導を行うことを推進している。

3 東葛北部地域の糖尿病患者・予備群の状況

○平成30年度特定健診の結果、糖尿病予備群の割合が高い。

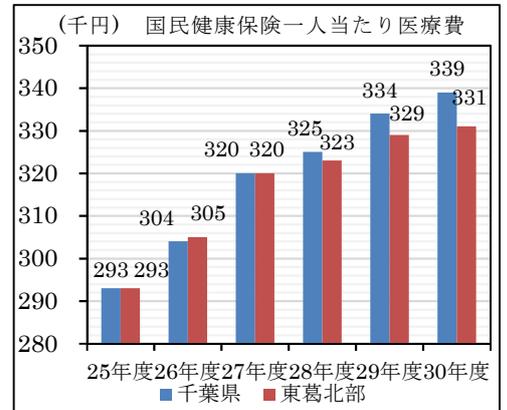
また、糖尿病該当者は9,063人、治療中の者は5,660人であり、未治療者が多いと思われる。

平成30年度特定健診等のデータ分析（速報）より

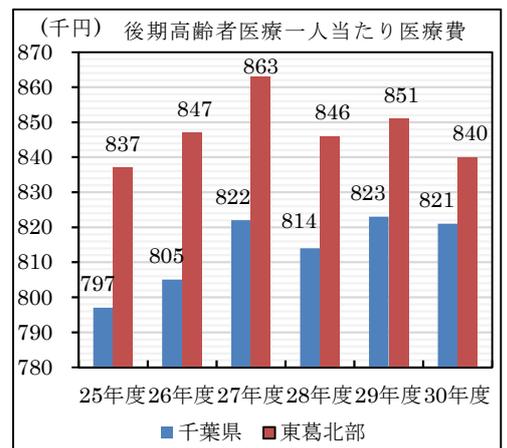
- ・健診受診率：39.2%（県40.8%）
- ・糖尿病予備群：11,525人（14.3%、県12.7%）⇒予備群の割合が高い
該当者：9,063人（11.3%、県11.4%）
- ・内服、インスリン使用中：5,660人（7.0%、県7.4%）⇒未治療の者が多いと思われる

4 東葛北部地域における課題

- (1) 健診受診者を増やし、重症化リスクの高い者への受診勧奨・保健指導による生活習慣の改善を促す必要がある。また、医療機関での治療継続や腎機能を含む定期検査の実施と、必要時腎臓専門医と連携をお願いしたい。
- (2) 未治療者や治療中断者へ受診勧奨し治療継続が必要である。国保等保険者は医療レセプトを活用し受診勧奨後の受診確認と、過去に糖尿病薬の投薬歴がある者で治療中断している者を抽出し、受診勧奨をお願いしたい。
- (3) 高齢化率は県と同等であるが、年々上昇しており、75歳以上の後期高齢者に対しても取り組む必要がある。
- (4) その他 東葛北部地域における糖尿病性腎症重症化予防対策の推進にあたっての課題を教えてください。



出典：千葉県国民健康保険事業年報より



出典：後期高齢者医療事業年報より



出典：日本透析医学会統計資料より